

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		屋良 さとみ	所 属		医学部 医学教育企画室
			職 名		准教授
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.60	①医学教育企画室の専任教員として、学部学生の”医学教育”に関する様々な案件の総とりまとめ的な役割を担う。(CBT, OSCE等含む。) ②学部学生がより良く有意義な学生生活を送れ、また卒後より良い勤務状況を得られるように対処していく。 ③学生からの積極的な意見の聴取。相談対応。 ④呼吸器内科医として学部学生の系統講義の一部を担当する。 ⑤呼吸器内科医として臨床実習時の小講義を担当する。 ⑥M2学生前期の「医学英語講義」を担当する。 ⑦M3学生11人の”指導教員”として6年間生活等の指導・教育にあたる。		0.60	目標の中で、「⑤呼吸器内科医として臨床実習時の小講義を担当する。」は、年度途中から、他の呼吸器医に引き継ぐことが出来たため担当しなくなったが、他の①～④⑥⑦は、達成できたと思われる。
研究	0.05	・”医学教育”に関する研究を施行していく。 ・”呼吸器びまん性肺疾患”に関する研究を施行していく。		0.02	・”医学教育”に関する研究をまとめるのためのデータを蓄積している。 ・呼吸器内科の診療に関わることで、”呼吸器びまん性肺疾患”に関する研究に参与した。
社会貢献	0.05	* より良い医療人を育成・輩出することで、社会貢献していく。		0.06	二年前からの総合試験の導入によって、結果的に琉球大学医学科の「医師国家試験合格率が上昇」し、より多くの良い医師を輩出でき、社会貢献につながった。
管理運営	0.05	・医学教育企画室自体を管理運営していく。 ・国(文科省、厚労省等)からの方針を実現していけるよう、学務教務係の方々と協力して対処していく。 ・”医学教育”に関わる他部署とも連携し、FDその他の企画を立案・実施していく。		0.05	不十分な点もあるが、かなり達成はできたと思われる。
進路指導	0.05	・学部学生の”在学中および卒後の進路”についての指導・相談を行う。		0.07	今年度より、総合試験における留年生等への指導介入を積極的に開始したため、明らかに予想以上に指導にかかる時間が増えた。
診療	0.20	・内科医・呼吸器内科医(特に専門は”びまん性肺疾患”)として、患者さんの外来・入院診療に携わっていく。		0.20	十分目標通り、遂行出来たとと思われる。
計	1.00	・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前	名嘉地 めぐみ		所 属	医学教育企画室	
職 名	特命助教				
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.30	①国際認証に対応した医学教育カリキュラム改革のために学生・教職員向けのFDを実施する。②臨床実習を実質化するために学生や教員から積極的に意見の聴取を行う。		0.30	①今年度内に医学教育カリキュラム改革のためのFDを実施予定。②臨床実習連絡会(学内・学外)の定期開催し、担当教員及び指導医の意見を聴取した。学生にはアンケートを実施し、改善できるところは学生の意見を反映させた。
研究	0.20	昨年度、科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究に採択され外部資金を獲得した。「潜在性鉄欠乏が血管内皮に及ぼす影響について」というテーマで研究を遂行し、研究成果を学会で発表する。		0.10	研究を遂行するため、研究概要を倫理審査委員会に提出した。研究成果はこれからであり、学会発表は来年度以降検討している。
社会貢献	0.10	①沖縄県内の女性医師等就労支援事業への参画。②男女共同参画の取組として、沖縄県医師会と連携して復職支援に関する講義を企画・開催する。		0.10	①②沖縄県医師会主催の女性医師の勤務環境整備に関する病院長等との懇談会に参加し、琉球大学医学部のキャリア教育の取り組みについて発言した。今年度から開始した1年生対象の医学キャリア教育の授業を企画し、学内及び学外講師を招聘し実施した。
管理運営	0.15	医学科教務委員会に参加し、主に臨床実習のカリキュラムの改革に関わる。		0.25	医学科教務委員会に陪席し、国際認証に対応した医学教育を取り入れるために、臨床実習のカリキュラム改革と臨床実習期間の延長を行った。従来の見学型実習から診療参加型実習に移行する取り組みや臨床実習履修簿の立案、作成のサポートを行った。
進路指導	0.15	①臨床実習中の学生及び留年した学生の進路相談や学業サポートを行う。		0.15	臨床実習中の学生、総合試験不合格者及び留年者の学習状況の聞き取りと今後の学習計画に対する指導を行った。メンタルケアが必要な学生は保健管理センター及び医療機関への受診を促した。
診療	0.10	外来診療業務の支援を行う。		0.10	学内の医師が多忙な場合、代診業務を行い、診療をサポートした。腎臓専門医として、地域病院において腎不全患者の診断、治療、教育を行い、地域医療に貢献した。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		砂 川 昌 範	所 属		医学部 医学教育企画室	職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果		
教育	0.50	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業評価に基づき、生理学・病態生理学講義内容を厳選し、理解度を高めるよう改善する。 ● 生理学実習をとおして生体反応の解析方法を習得させる。 ● 国際認証ワーキンググループの一員としてカリキュラムを策定する。 			0.40	<ul style="list-style-type: none"> ● 講義時間数を増やし、説明を平易にし学生の理解度を高めることが出来た ● レポートに示された図表とその説明内容を基に判断すると、生体反応の解析方法を学生に適切に習得させることができた。 ● 国際認証WGで認証に必要なカリキュラム改訂案を策定した。 		
研究	0.35	<ul style="list-style-type: none"> ● 研究成果をを学会および学会誌に発表する ● 基盤研究(C)「血管平滑筋の形質変換における電位依存性カルシウムチャネルの役割」の研究代表者 ● 化学物質・病原体の管理、報告書作成 			0.10	<ul style="list-style-type: none"> ● 達成できていない。 ● 追加の実験を行い、研究を進展させることが出来た。 ● 達成できた。 		
社会貢献	0.05	<ul style="list-style-type: none"> ● 生理学会、日本病態生理学会の評議員会への参画 ● 産業医として企業の安全衛生の向上に努める 			0.10	<ul style="list-style-type: none"> ● 生理学会評議員会として活動できた。 ● 職場検診結果を基に、100名の従業員に安全衛生の指導を実施した。職場巡視報告書による改善指導により事業所の安全衛生が向上した。 		
管理運営	0.05	<ul style="list-style-type: none"> ● 医学教育企画室室員として運営に協力する ● 教務委員としての責務を遂行する。 ● センター試験、入学試験等での試験監督としての業務を行う ● 局所排気装置の定期自主点検の実施 			0.25	<ul style="list-style-type: none"> ● 医学教育国際認証カリキュラム作成に取り組んだ。 ● 教務委員として責務の遂行できた。 ● 全学統一試験の試験監督業務を行った。 ● 局所排気装置がないため報告義務は生じなかった。 		
進路指導	0.00				0.05	<ul style="list-style-type: none"> ● 総合試験不合格者への学習状況の聞き取りと今後の学習計画に対する指導を行った。 		
医療支援	0.05	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域医療における血液透析療法の支援を行う ● 地域医療における総合内科医としての支援を行う 			0.10	<ul style="list-style-type: none"> ● 外来透析患者の病状に応じて診断治療を適切に行った。 ● 外来患者の診断治療を行い、中部地区および宮古島の地域医療に貢献できた。 		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			